

## 第 5 回アジア精密工学会

5th International Conference of Asian Society for Precision Engineering and Nanotechnology  
(ASPEN2013)

理化学研究所 光量子工学研究領域 先端光学素子開発チーム  
特別研究員 郭 江  
(平成 25 年度国際会議等参加助成 AF-2013041)

キーワード : Precision Machining, Measurement, Nanotechnology, Mechatronics

### 1. 開催日時

平成 25 年 11 月 12 日から 11 月 15 日まで  
(計 4 日間)

### 2. 開催場所

Howard Civil International Centre, Taipei,  
Taiwan (台北、台湾)

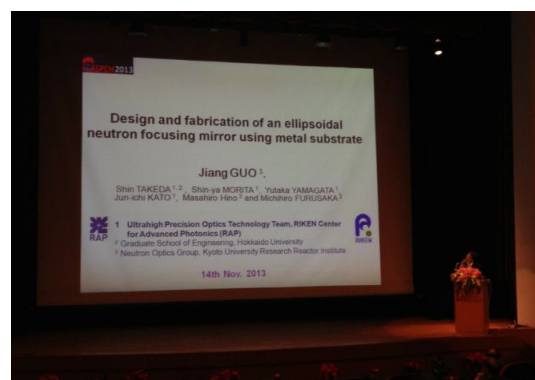
### 3. 国際会議報告

今年台北で開催した「ASPEN 2013」は精密工学分野のアジア地域最大の会議であり、名称は Asian Society for Precision Engineering and Nanotechnology (ASPEN)、つまりアジアにおける精密工学会のようなものである。アジア地域の研究者を集まってコラボレーションを促進するとともに、優秀な若手研究者を奨励するために、2 年に一回 11 月頃に学会を開催する。レベルが高い上に規模も大きく、今年の参加者は 400 人以上となった。

ASPEN はアジア地域の学会の連合、つまり日本精密工学会、韓国精密工学会、中国機械工程学会及び中国精密工学会として構成される。今年は 5 回目である。過去 4 回は中国の Shenzhen、韓国の Gwangju、日本の北九州と香港で行われた。会長は総会の席上で選出され、任期は 2

年である。学会のトピックスは以下のように精密加工と計測およびメカトロニクスが中心となっている。

筆者は中性子反射光学素子に関する研究成果をまとめた論文を採択され、研究題目「Design and fabrication of an ellipsoidal neutron focusing mirror using metal substrate」に関して oral presentation で発表した。そして、アジア地域の様々な研究者と交流し、精密加工と計測についての情報収集や意見交換を行った。さらに、台湾企業 3 社に訪問し見学を行った。



(発表中の様子)

4. 謝辞 本国際会議には天田財団からの一部助成により参加させていただき、深く感謝の意を表します。